

Special Feature

特集

介護・医療・障害福祉 トリプル改定のゆくえ

2024年度は、6年に1度の介護・医療・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が行われる。この機会をとらえて、介護サービス・医療サービス・障害福祉サービスの連携を推進するために、新たな評価項目の設定や見直しが数多く行われることになっている。

今号では、日本慢性期医療協会の常任理事として社会保障審議会介護給付費分科会の委員も務め、また、全老健副会長でもある田中志子氏に、今回のトリプル改定の感想や意見をうかがうとともに、改定率プラス1.59%となった介護報酬改定を最大限に活用するために、老健施設にかかわる改定内容を概観しながら、算定に向けて取り組むべきポイントについて解説する。



インタビュー

データを重視したトリプル改定 制度の再構築を展望し、 介護の魅力を発信

田中 志子

一般社団法人日本慢性期医療協会 常任理事
社会保障審議会介護給付費分科会 委員
全老健 副会長
介護老人保健施設大誠苑 理事長

解説

令和6年度介護報酬改定について プラス改定を最大限に活用する取り組みを

全老健事務局